

## 「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒」

### < 12月の振り返り >

#### 【評価と改善】…評価を基にした現状（課題）の再確認と改善策の策定

2学期末時点で「今年度の重点」に対する現状把握はできたが、課題に対する具体的な改善策の立案までには至っていない。以下の○成果と●課題を再認識した上で、これに対する具体的な改善計画を立案し、確実に実践していきたい。

また、学校教育目標の認知については、すべての教育活動のベースとなるので教職員は100%、生徒の認知も80%を超えるようにしたい。何を目標として教育活動が組織されているのかを校内で共通認識することを忘れてはならない。改めて「みがき合い」「支え合う」という他者との関係の中での学びを大切にしながら「心豊かで」「たくましい」心身共に健康な生徒を目指していこうという原点を意識していきたい。

目指す教師像についても、白山中の良さを見つけ発信することに意を置くことで「白山中が一番好きな教師」に対する意識を高めていきたい。

学校教育目標や目指す教師像・生徒像については、1月実施予定の学校評価アンケートに反映させていきたい。

#### 「白山ブランド」の構築のために

- 明確な学習課題の設定、学習形態の工夫については、かなり意識されてきている。学習課題の青枠は定着してきた。
- 問題解決型「？」を意識した課題設定がまだまだ少ない。
- ペア、グループ、全体での思考の場を意図的に設定できるようになってきた。
- 学習班の活動に課題がある。
- 「何がわかったか、できたか」を確認するための評価問題の設定や時間確保に課題がある。
- 意図的な学級内の人間関係づくりに課題がある。
- 教師の傾聴や受容の姿勢はつくられてきた。
- 生徒の聴く姿勢や他者受容に課題がある。
- 冬季トレーニングは全校体制で取り組むことができた。
- 部活動を全校体制で取り組むことに課題がある。
- 部活動開始の挨拶指導、放課後活動への声掛け等の体制づくりに課題がある。
- 完全下校の指導等は全校体制で概ねできている。
- 校内適応教室の認知は上がってきた。
- 全校体制での「長欠対策」という意識は高くなった。
- 長欠生徒の保護者会の開催内容を工夫したい。
- 道徳の徳目「生命尊重」「思いやり」に関しては意識されている。
- 生徒会活動を新組織で主体的に取り組むことができた。
- 「明るく元気な挨拶」「美しく響く歌声」は意識された。
- 「心を磨く清掃」に大きな課題がある。

#### 「研究と課題」のために

- 授業改善のために「授業ルール」や「対話型の授業」が進められるようになった。
- 生徒指導の機能を活かした「わかる・できる授業」が意識されるようになった。
- UDの視点に立った教室環境や板書、言葉かけが意識された。
- 徳目を意識したテーマ設定による「考え・議論する道徳」を推進する必要がある。

#### 「連携推進」のために

- 小中一貫ランドデザイン等による方向性の共有に大きな課題がある。
- 校内ボランティアの組織づくりに大きな課題がある。
- 必要により関係機関との連携を図ることができた。